

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	教職員住宅 管理運営費			
担当課係名	教育総務 課	管理 係	作成者	高橋徳夫
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 93～94
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備		
	主要施策	学校施設の整備		
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	1 項 教育総務費	4 目 教職員住宅費
事業期間	平成 - 年度 ~ 平成 - 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	学校教育法、学校保健法、地方教育行政の組織及び管理に関する法律、建築基準法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内に勤務する教職員
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	施設の安全及び正常な機能保持
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	教職員住宅の維持管理を実施する。

## 【事務事業の推移】

		項 目	単 位	23年度実績		
効果	活動指標	教職員住宅入居可能世帯数	目標	戸	3	
			実績	戸	2	
			達成度	%	66.7%	
	成果指標	教職員住宅入居者世帯数	目標	戸	3	
			実績	戸	2	
			達成度	%	66.7%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)			144		
	人 件 費 (B)		—	85		
	職 員 数		—	0.01		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	229		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			0	
		地 方 債			0	
		そ の 他			0	
		一 般 財 源			229	
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	114,500		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	8		

【事務事業の今までの成果】

教職員住宅については、これまで主に若年の新任教職員に使用されることが多かったが、近年は外国語指導助手（ALT）にも使用されてきました。現在は遠隔地からの教職員が入居している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	既存施設については、配当予算内で優先順位による効率的な維持補修を行っている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
<b>B 3</b>	A 現状のまま継続（実施）	既設の教職員住宅については、現在入居者がいるため今後も維持管理の必要性はありますが、築30年以上経過した建物については老朽化が進んでいる状況であり、今後取り壊しも含めた検討が必要な場合も考えられるのでB3と判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

築30年以上経過した建物が4棟（内3棟が空室）あり、老朽化が進んでいる状況です。現在入居者がいることも考慮しながら、今後取り壊しも含めた検討が必要と考えています。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
<b>B 3</b>	民間賃貸住宅等が充足していることから、施設の必要性を検討する時期と考えます。廃止・解体も視野にいれ、今後の方向性を検討していく必要があると考えます。

